

令和4年9月29日

視察先

名 服部 良一

徳島県 美波町 新中え(株)

内容

サテライト企業誘致  
私は二度目であるが視察するに比 美波町にサテライトオフィスがあるのは  
ブティック、カフェ、レストラン、ラーメン屋、イタリアンなどから移住  
している 初めての訪れた時は 8社ほどだったが現在は 24社  
誘致している やはり広報、と都心のオフィスにアプローチ、イベント  
場力を目玉に 特に広報の中で 誘致に直結する 要素である  
ライフワーク、ライフスタイルの選択、余暇の使い方のマッチングなどに  
は重点を置いている おいしく物が食べられ、空気がきれい、  
景観が良いなど 全国どこでも うたっている 対象者コースは  
どうなっている ない事に気が付かぬかもしれない。

研修先

徳島県 美波町 (木の会社)

内容

炭作り 窯作り 森林活性化事業  
昭和初期まで 美波町は漁業よりむしろ林業が主産業だったという  
中でも炭作りがメッカであった しかし燃料が油、ガスなどに変わり  
衰退していった。平成になり、薪や炭の需要が急増するようになり 令和に入り  
またコロナにより 薪や炭の需要が格段に増加している 22に町の  
活性化が見える。しかも 荒れ区山林が平入が進む  
一帯で 14万売り上げられるとのこと 町の産業の一つになりえる  
問題点 売り先の確保が激戦に陥りつつある やはり早手の一歩である

令和4年9月30日

視察先 岡山県 児島商工会議所 末佐 俊治  
小松原 達矢

内容 基幹産業 商店街振興 及び空き屋対策

児島産業の歴史 江戸時代 組紐：真田紐 など  
発展 現代の繊維産業 全国シェア日本一へと続く  
学生服日本一 から メイドインジャパン ジンズへとつながる  
感心するのは 町の古民家 空き店舗を利用し  
失われた商店街が ジンズストリートと変わり  
再活性化に成功した町であった ハヤ市も各地域に  
失われつつある商店街がある ハヤ市ブランドを作るのが  
必要である

視察先 岡山県 美咲町 役場 議長 松島 啓  
課長 光嶋 寛昌

内容 試めし移住対策

移住者獲得することから一歩の目的ではある が  
一長短で出来るようなものではない 試めしというのは  
交流 移住者 を増やし 町のくらしを知ってもらうことが目的

問題点 住宅根拠法  
購入又は賃借するものが当該施設を購入する意思  
長期賃借の意思を有しているか

試めし住宅が 試めし者のニーズに合っているか いなかの問題が  
ある もっと問題点は 近隣住民と試めし者が 協有協住  
協性活 が試められるか 一歩の問題点である

感想点 いずれにせよ 町への交流人口を増えることこそ移住者獲得への  
第一歩である。